

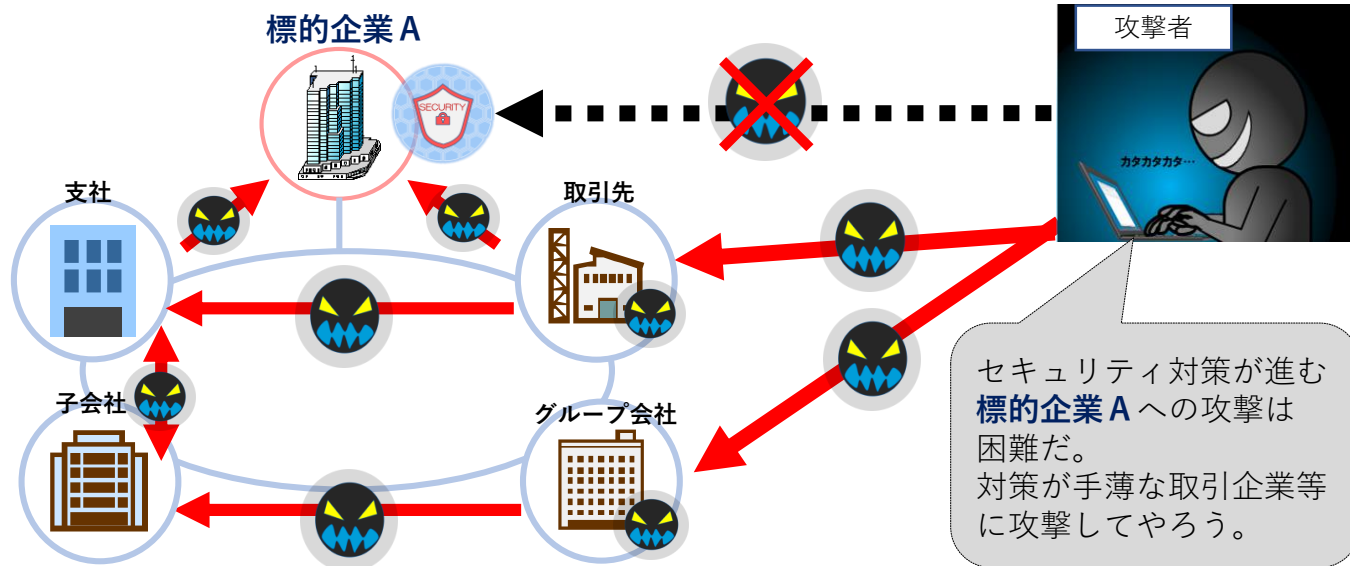
KBCS だより

令和8年 No.3

～企業を狙う！サプライチェーン攻撃～

サプライチェーン攻撃とは？

大企業を標的とした攻撃者が、サプライチェーンを通じて対象企業へ社会的・経済的な損失を与えようと考え、関連する中小企業を足掛かりに攻撃を行うものです。



サプライチェーン攻撃で被る不利益

- 機密情報・個人情報の窃取・漏洩
 - データの改ざん・破壊
 - マルウェア感染
 - システム障害・業務停止
 - 社会的信用の失墜
 - 金銭的損失
- 等

→ 被害は自社だけでなく、取引先にも広がります

なぜ中小企業が狙われるのか？

- 大企業はセキュリティが強固なため直接攻撃が難しい
- 中小企業はコストや人員が不足しがちで、セキュリティ対策が不十分となる状況にある

→ 「狙われない企業」はありません。「入りやすい企業」がまず狙われます

今すぐに行える対策

自組織はもちろん、**サプライチェーン全体の対策強化が重要です。**

- ◎ 取引先であってもメール内容をしっかりと確認すること
- ◎ 添付ファイル・URL を安易に開かないこと
- ◎ ウイルス対策ソフトを導入、OS やソフトウェアを最新にする
- ◎ アクセス権限は業務に必要な最小限度に設定すること
- ◎ 不審に思えばすぐ上司や管理者に報告・相談すること
- ◎ 職員のセキュリティ意識を高めること